

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校)

目指す学校像	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
--------	--

重点目標	1 学力向上に組織的に取り組み、自己の進路実現を果たす一女生を育成する。 2 部活動、学校行事などに全力で取り組み、自らを高める一女生を育成する。 3 国内外との様々な連携を推進するとともに、一女の教育を積極的に情報発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標				年度評価(2月1日現在)		実施日	
翻	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	
1	<p>①県内トップレベルの学力をもつ生徒に対し、高い志を育成し、進路希望実現に向けた数々の取組を行い、成果を上げている。全教室に整備したWi-Fi環境を生かし、生徒が広い視野で情報を得、実感を持って学ぶ体制づくり、授業づくりを推進する必要がある。</p> <p>②全職員の共通理解のもと計画的にガイダンスを実施し、生徒が主体的に進路について考える指導体制が整ってきている。生徒一人ひとりに合った充実した進路指導が提供できるよう、学年・教科・分掌間の連携がより求められる。</p> <p>③新学習指導要領、高大接続改革についての研究を進めている。本校の取組の良い点、改善点を明らかにし、教育課程改善に向けた将来構想のアウトラインをまとめていく必要がある。</p>	<p>①授業改善への取組みに対する共通理解の推進</p> <p>②全職員による組織的な進路指導</p> <p>③新学習指導要領、大学入試改革の内容の調査研究</p>	<p>①教務、学力向上委員会を中心とし、生徒の主体的な学びを支援する体制を整えるとともに、ICTを活用した授業研究、授業改善に取り組む。</p> <p>②学年および進路指導部の連携を綿密にし、各進路行事を一層充実・発展させる。生徒一人ひとりの目標実現に向けた進路指導にあたる。</p> <p>③ビジョン委員会・企画委員会を中心に調査研究を進める中で、課題を共有し将来構想について検討を進める。</p>	<p>①授業改善に向けた研究授業、情報交換会の実施状況</p> <p>・実力養成講座の開催数</p> <p>・ICT活用研修会の実施状況</p> <p>・ICTを活用した授業実践の状況</p> <p>②情報提供により大学等の魅力の発信</p> <p>・進路ガイダンス、個人面談の実施回数</p> <p>・保護者向け講演会の実施</p> <p>③先進校視察、外部研修会等への参加状況</p> <p>・校内研修会の実施</p>	<p>【授業改善・充実に向け、組織的に取り組んだ】</p> <p>・実力養成講座94講座開設 ・ICT活用研修2回実施</p> <p>・全教科によるICT活用授業実践集を作成し、共有化した【生徒一人ひとりに合った進路指導の連携ができた】</p> <p>・個人面談1年4回、2年3回、3年4回実施を基本とし、状況に応じてより多くの面談を実施。進路ガイダンスノートを活用し、個に応じた進路指導を実施</p> <p>・保護者向け講演会、説明会、パス見学会実施</p> <p>・学年情報交換会実施</p> <p>【新学習指導要領、大学入試改革の理解を進め、目指す学校像に合致した教育課程編成ができた】</p> <p>・先進校視察、外部研修会にのべ、45名以上が参加</p> <p>・入試改革の具体について研修会を実施</p>	<p>A 教育課程委員会が中心となり、昨年度の研修会を踏まえて、本校の目指す学校像に合致した新教育課程を編成することができた。次年度は新学習指導要領が目指す学力を着実に伸ばしていく観点別評価、パフォーマンス評価等、評価方法の研究を進めていく必要がある。生徒がPDCAサイクルを意識できる評価となるよう、研修会を実施し共通理解を図っていく。</p> <p>A</p>	<p>学校関係者からの意見・要望・評価</p> <p>・ICTを活用した授業を参観したが、生徒にとって分かりやすく興味をひく内容になっており、工夫されている。更に推進してほしい。</p> <p>・授業に限らずICTを活用して様々な経験ができると思うので、生徒自身がICTを活用できるような体制が作れるとよい。ICTを活用しながら、考える視点や判断力を養い大学に進学できると良いと思う。</p> <p>・きめ細かく丁寧な指導が進められている。</p> <p>・質の高い授業が行われている。生徒もそれについていっている。言葉は知っているが、深い所までは理解していないといったことが多い中で、主体的に考える授業が行われている。生徒の表情が良い。充実した学校生活を送っていることがよく分かる。引き続き、質を担保しながら取り組みを進化させていってほしい。</p>
2	<p>①16年目となるSSH、中間報告で高い評価を受けたSGHの実施により、探究型学習の成果が出ている。その成果を継続、発展させていく、より組織的な運営を推進していく必要がある。</p> <p>②生徒が中心となって様々な学校行事を企画運営している。部活動に係る活動方針に則り、文武両道の実現に向けより効果的かつ効果的な活動となるよう支援することが求められる。</p> <p>③悩みを抱える生徒支援に重点的に取り組んでいる。教育相談をより充実させると同時に、生徒自身にも生きる力の醸成を促していくことが求められる。</p>	<p>①SSHの取組状況</p> <p>SGHの取組状況</p> <p>②各学校行事における支援状況</p> <p>③教育相談体制の充実</p>	<p>①探究学習部を基盤として全職員で各々の活動の取組みを支える。</p> <p>②生徒会を中心に、各行事において生徒たちが主体的に活動できる環境づくりを行う。</p> <p>③生徒指導部、保健環境部、教育相談委員会を中核とし安全・安心な学校づくりのための組織的な取組を推進する</p>	<p>①SSH1年受講生65名、選択生徒の満足度</p> <p>・SGHの効果的な計画立案、実施及び生徒全体への還元状況</p> <p>②各行事における生徒の満足度</p> <p>・生徒の成長</p> <p>③スクールカウンセラーの有効活用</p> <p>・いじめの未然防止・早期発見・早期対応状況</p> <p>・支援を必要とする生徒の情報共有状況</p>	<p>【探究学習部を中心としSSH・SGHを連動させ効果的な取組ができた】</p> <p>・SSH・SGH合同研究成果発表会の実施予定</p> <p>・SSH・SGH各プログラムの満足度9割以上</p> <p>【支援体制を整え生徒の心の成長を促進】</p> <p>・各行事における生徒の満足度は非常に高かった</p> <p>・効率化を進め生徒の協働性、主体性をより高めた</p> <p>【個に応じた組織的な支援体制を作ることができた】</p> <p>・スクールカウンセラーによる教育相談日を18回設定・コーディネーターを中心に、養護教諭、学年が連携し効果的な教育相談体制を作ることができた</p>	<p>A SSH、SGH事業の全校体制が定着し、合同研究成果発表会を多くの来場者を迎え、2月8日に実施する運びである。</p> <p>A 次年度は更なる成果の定着に向け、探究活動による生徒の変容を、具体的にとらえる評価方法について検討、試行していく。探究活動で生徒に身につけさせたい力とは何かを整理し、学年ごとに行われている評価規準を3年間の学びで考える等の取組をしていく。</p> <p>B 教育相談の要相談者の減少に向け、よりきめ細かく情報共有体制を作る必要がある。</p>	<p>・難関大学を目標としている生徒が多いと思うが、大学で何がやりたいのか、自分の目標をもって進学した人は、その後も軸がぶれずに充実した大学生活を送っている。生徒には是非、高校生活の中で大学入学後の目標を見つけてほしい。その意味において、SSHやSGHの取組は、とても重要である。さらに推進してほしい。</p> <p>・世間では部活動や行事を減らす方向性もあるようだが、生徒会活動、行事が盛んでとてもよい。ICTの発達が急速に進む時代だからこそ、生身でぶれあう活動の重要性が増して来ていると思う。ぜひ維持してほしい。</p> <p>・生徒会活動がしっかりできていることが、とても良い。こうした経験が卒業後生きていく。今後も継続してほしい。</p>
3	<p>①本校の取組を幅広く公開し、一定の成果を得ている。HP等のリニューアルを進め、情報発信力を高めるとともに、学校説明会等で新入試対応など、より詳しく説明ができるよう校内体制を整備する必要がある。</p> <p>②幼稚園・小・中学校・塾・大学・地域との連携を図り、充実した取組を展開している。地域の中で生きることを学ぶ地域連携、大学の研究室等との共同研究などさらに一歩進んだ質の高い連携が望まれる。</p>	<p>①本校教育活動に対する情報発信の充実</p> <p>②外部との連携の推進</p>	<p>①学年、各分掌が連携し諸行事の充実を図ると共に、その活動を広範囲に発信していく。</p> <p>②教務・学年を始め、各分掌が中心となってさまざまな連携の充実を図る。国際交流委員会やSGH推進委員会が綿密に連携する。</p>	<p>①授業公開・学校説明会の実施状況</p> <p>・生徒による中学校訪問実施</p> <p>・地域、学習塾等との連携状況</p> <p>・HPのアクセス数年間10万件以上</p> <p>・志願者数の増加</p> <p>②文化部を始めとする部活動の地域参加</p> <p>・幼高連携、高大連携の各プログラムの充実</p> <p>・地域住民の方々との交流3回以上</p> <p>・小学校との交流参加者50名以上</p>	<p>【情報発信力を強化し、本校の魅力を効果的に発信した】</p> <p>・生徒による中学校訪問を6月に実施</p> <p>・授業公開14回、学校説明会7回(うち1回は小学生対象)</p> <p>・塾説明会、個別相談会に13回参加</p> <p>・HPをリニューアルし、最新の学校情報を発信</p> <p>・12/15現在の志願状況1.4倍(昨年度1.21)</p> <p>【地域と積極的な連携ができた】</p> <p>・地域の祭り、さいたま国際マラソン、市民会議等に、生徒がボランティアとして参加し、地域との交流を深めた</p> <p>・小学校との交流参加者52名</p>	<p>A HP、学校案内のリニューアル、学校説明会の内容の改善等を行い、情報発信力を高めることができた。今年度の成果を着実に定着させ、さらに高めていく必要がある。次年度も引き続き、夏季休業中の学校説明会の新規実施など、新たな取組を積極的に行っていく。</p> <p>A 継続的に交流を進め、視野を広げていくために生徒・教員の負担軽減の観点からも検討し、地域貢献の形を作っていく。</p>	<p>・HPがリニューアルされ、知りたい情報を見つけやすくなった。デザインもおしゃれで学校の楽しそうな雰囲気伝わってくる。</p> <p>・「誰に向けて」「何を目的として」掲載する記事なのかを、もっとはっきりとさせた方がよい。</p> <p>・HPで保護者や地域の方々に向けて発信することも大切だが、在校生に向けて、必要な情報を発信することもHPの役割であると思う。もっと生徒が活用できるものにしてほしい。</p> <p>・自治会の桜まつり等に参加していただき感謝している。参加生徒が様々な経験をし、活躍できるように役割分担等を工夫している。学校と連携し生徒の力を伸ばして行きたい。今後も協力をお願いする。</p>